

第 4 号

発行 JA吉田総合病院

広島県安芸高田市吉田町吉田3666
TEL (0826) 42-0636
FAX (0826) 47-0007

吉田総合病院

あおぞら

春号

青空

■ホームページ <http://www.hirokouren.or.jp/yhindex.htm>



今後の JA吉田総合病院のあり方



病院長 住元 一夫

本年3月1日をもって高田郡6町（吉田町・八千代町・美土里町・高宮町・甲田町・向原町）が合併し、県内14番目の新たな市『安芸高田市』が誕生しました。よって市の唯一の総合病院としての責務を負うこととなります。

当院は幸いに全科を有し、また老人保健施設、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、健康管理センター、人工腎透析センター、地域医療連携室とあらゆる体制を保持しております。

しかしながら、高齢化率32%の中山間地を医療圏とする当院は、高齢患者様が中心で昨今の診療報酬体系によって医療事業は一層困難になりつつあります。すなわち、地域医療を守るため、慢性期医療と介護医療を共存しつつ急性期医療や救急医療（休日夜間救急診療所）で365日、36名の

医師で日当直内科系1名、外科系1名さらに各科に待機を（配置）の機能を維持するのは、私共の中規模病院のマンパワーでは至難の業であるにもかかわらず、やりがいと使命感を支えに全職員努力しているところでもあります。

また、本年4月より臨床研修指定病院として認められ、2名の研修医が赴任しました。現在指導医、専門医を各科に配置し教育の場としての整備のみならず、近隣の総合病院と肩を並べる人材を有する病院に成長いたしました。

さらに来春には、病院機能評価を受審すべく準備を着々と進めております。病院医療は、診療の質と治療結果の質を左右するチーム医療の促進と納得のいく説明が重要であり、この評価を第三者にしているだけでなく、極めて大切な役割を担う以上、上記の機能を温存しつつ、当院は必須の存在であり地域のニーズに添えて良質な医療・保健・福祉を提供できるよう努力していきたいと考えております。今後とも、よろしくお願ひ申しあげます。

婦人科
診療科紹介



岩沖靖久

副院長
診療部長(外科系)
兼婦人科主任部長

平成15年4月より産婦人科医師が医師不足のため二人から一人となり、当科では分娩の取り扱いをやめております。分娩以外の産婦人科診療は、手術手伝いを外科の先生にしていたりいたりしながら従来どおり行っています。

当院婦人科の特徴は、高齢者が多い地域の特性を反映して、中高年女性の婦人科疾患、健康管理が中心となっていることでしょう。子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮脱などの良性疾患だけでなく、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌などの手術、化学療法も行っています。必要があれば放射線治療も追加しています。良性疾患では腹腔鏡を利用した手術はもちろんならない、おなかに全く傷の入らない腔式手術も多数行っています。

悪性疾患では、子宮頸癌 I期の5年生存率100%、II期の5年生存率80%、子宮体癌I、II期の5年生存率100%、卵巣癌I、II期の5年生存率100%と悪性婦人科腫瘍で高い5年生存率を誇っています。

近年高齢化に伴い痴呆女性の婦人科疾患合併もしばしばみられるようになりました。

今までは痴呆老人の受け入れ体制が十分でなく、やむなく手術をお断りしていましたが、今回痴呆病床が確保され、痴呆老人の手術治療がスムーズに行なえるようになるのではないかと期待しています。

中高年女性の健康管理では、更年期障害や閉経後女性に多くみられる骨粗鬆症、高脂血症、尿失禁、うつ状態などの診断、治療を関連各科と連携しながら行っています。

平成16年3月より当院にも乳房検診に利用されるマンモグラフィーX線撮影装置(HITACHI LORAD M-IV)が入りました。



乳房検診に使われる当院のマンモグラフィーX線撮影装置(HITACHI LORAD M-IV)

外科、健康管理センターとともに婦人科でも、乳癌検診にどんどん利用していこうと考えています。

この他、不妊症も少子化社会の中で大きな問題であり、体外受精を行なっている施設と連携

しながら積極的に診断、治療に取り組んでいます。また、未婚女性にとって一番心配な疾患は性感染症ではないでしょうか。現在、クラミジア感染は広く蔓延しており女性の受ける身体的ダメージも強く、まずチェックしておかなければならない疾患です。いつもと違う帯下や下腹痛、腰痛がある場合は婦人科を受診しましょう。

吉田総合病院では、分娩の取り扱いを現在やめており、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしておりますが、現在の体制でできる限りの産婦人科診療は続けたいと考えております。何卒今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



婦人科スタッフ
左より登成さん、岩沖先生、室坂さん

薬 剤 部



当院薬剤部は、現在薬剤師6名、助手1名で構成されております。
患者様に安心してお薬を服用して頂くために医師、看護師、コメディカルなどと連携を図り、また全科にわたる院外処方箋の発行に伴い医薬分業がスムーズに行われるよう地域の保険調剤薬局との連携もとっております。

①調剤業務
入院処方、一部外来処方及び休日夜間帯（保険調剤薬局の業務終了時）における救急外来処方について、用法・容量が適正であるか、また薬の飲み合わせ（薬物相互作用）等に問題はないか、処方箋記載内容を確認し調剤をした後、患者様に薬を適正に服用及び使用していただくように必要な情報を提供しています。

②薬剤管理指導業務
入院患者様を対象に病棟担当薬剤師が患者様の病室へ伺って服薬指導を行います。
薬の正しい服用・使用方法、目的などを理解していただきコンプライアンスの向上を目指します。
薬の副作用、相互作用等のチェックや患者様の薬に対する不安や疑問にお答えして、安心して服用していただけるよう日々積極的に活動しております。
また、医師、看護師に患者情報をフィードバックしたり、医薬品情報を提供するなどチーム医療に関わっています。

③薬品管理業務
医薬品が適切、安全に使用されるために保管・管理方法有効期限等の品質管理に十分注意を払っています。
また緊急の場合でも的確に医薬品が供給されるように対応しています。
その他、個人別注射薬セット業務、製剤（市販されていない薬品を作ったり、消毒薬の無菌的な製剤を調整しています）、麻薬管理、血液製剤管理など多くの業務を薬剤師が行っています。

④医薬品情報業務
医薬品の適正使用のため、医薬品情報を収集し医師、看護師等の医療スタッフに対して情報提供を行っています。
薬剤部の今後
当院では二千年より外来患者様に院外処方箋の全面発行を開始しました。
したがって、病院における薬剤業務は入院患者様へと推移しています。入院薬剤管理指導業務はもちろん、注射薬個別セット、病棟医薬品管理などを通じて、リスクマネージメントの観点から医療チームの一員として医療事故防止に努力していかねばなりません。
今後とも薬剤師職能を十分に発揮して患者様のお役に立てていきたいと考えています。

春の花見

“老人保健施設のぞみ”では、4月初旬の3日間にわかれて、恒例の土師ダム桜見物に出かけました。
昭和49年完成した土師ダム周辺では、約6千本の桜が咲き誇り、たくさんのお花見客が訪れておりました。
花見当日は、院内ボランティアの皆様の付添い介助により、入所者の方々は、安心・安全に移動しながらのより有意義な花見となり、喜ばれておりました。
10月には、秋の花見を予定しております。



吉田総合病院 診療案内

受付時間 月曜～金曜 8:30～11:30

2004年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	加藤博也	山下喜史	川本雅英	山下喜史	川本雅英
	2 診	鼻岡新治	濱田雅典	森原正雄	鼻岡新治	濱田雅典
	3 診	原田和歌子	鼻岡新治	古川正愛	古川正愛	加藤博也
	4 診	大月知文	森原正雄	大月知文	原田和歌子	大月知文
	新患外来	川本雅英		山下喜史		森原正雄
	腹部工コ一	濱田雅典	原田和歌子	鼻岡新治	森原正雄	山下喜史
	胃内視鏡	森原正雄	川本雅英	加藤博也	加藤博也	原田和歌子
		山下喜史	古川正愛	濱田雅典	川本雅英	鼻岡新治
U C G		大月知文		大月知文		
* 小児科	診察	一般外来 (1診:守屋 真・2診:米倉圭二)				
	※午後外来受付	一般外来 (月・木・金) 15:00～16:30 乳児検診 (水) 13:00～14:00		予防接種 (火・水・木) 14:00～15:00 慢性外来 (火・水) 14:00～16:30		要予約
外科	1 診	住元一夫	漆原 貴	漆原 貴	越智 誠	住元一夫
	2 診	繁田直史	越智 誠	越智 誠	繁田直史	漆原 貴
	3 診 (工コ一)	亀岡 稔	奥田 浩	亀岡 稔	亀岡 稔	繁田直史
	4 診			奥田 浩		奥田 浩
専門外来 (毎日)	内視鏡外科・ヘルニア:漆原 / 肝胆膵外科:越智 / 乳腺・甲状腺:繁田					
* 外脳神経科	診察	沖田進司	沖田進司	沖田進司	沖田進司	沖田進司
	※脳神経内科 第2・第4木曜日	大下智彦 (ただし、7月26日より、第2・第4月曜日:伊藤 聖)				
整形外科	1 診	竹本正端	定地茂雄	竹本正端	梶川和徳	竹本正端
	2 診	定地茂雄	梶川和徳	梶川和徳	永田義彦	定地茂雄
	3 診	水野尚之	永田義彦	永田・水野		水野尚之
眼科	診察	調枝寛治		溝辺裕一郎		溝辺裕一郎
	※午前外来受付	10:30まで				
* 耳鼻科	午前	一般外来 (1診:井門謙太郎・2診:石橋卓弥)				
	午後	一般外来	手術	一般外来	一般外来	手術
	※午前外来受付 (火曜日のみ)	11:00迄		※午後外来受付 14:00～15:30		
* 婦人科	診察	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久
	※午後外来受付 (水曜日のみ)	13:30～15:30				
* 器泌科尿	診察	西本憲治	西本憲治	西本憲治	西本憲治	西本憲治
	※午後外来受付 (木曜日のみ)	14:00～15:30				
精神科	1 診	長岡幾雄	長岡幾雄	梶山浩明	当番医	長岡幾雄
	2 診	草加耕司	梶山浩明	草加耕司	草加耕司	梶山浩明
* 皮膚科	1 診	行徳英一	行徳英一	行徳英一	行徳英一	行徳英一
	2 診	大原直樹				
	※午後外来受付 (月・水・木曜日のみ)	14:00～15:30				
* 麻酔科	1 診	久保田 稔		久保田 稔		久保田 稔
	2 診	田村秀樹		田村秀樹		田村秀樹

* 印は午後外来診察あり。



佐藤

松谷

田村

古川

水山

今本

漆原



増田

大下

凝重

寺岡

田端

白川

吉廣

徳本

「青空」病院地域皆
 広報委員一同頑張る
 様
 橋
 願

広報委員紹介